



GRILL ON! VERMILLIONS

遊び方説明書

20min 2~4人 9才以上

あらすじ

カツレツ
勝利2900年。

「焼肉」は若者を中心に全世界に爆発的な流行を見せ、今や競技人口29億人という絶大な人気を誇るスポーツと化した時代…。

焼肉ワールドチャンピオンシップ、決勝戦。勝ち残った6人がスタジアムの上に集った。

「フン。逃げなかったことだけは誉めてやろう。」

「焼肉は人を傷づける道具なんかじゃない…。
俺は!それを証明しに来たんだ!!」

そして不死の肉をめぐる戦いが遂に決着!

ついに明かされる首領の正体とは?

果たして、首領は失われた記憶を取り戻すことができるのか?

果たして、烈火は失踪した父の手がかりを見つけることができるのか?



□カードの置き場に関する用語

内容物のうち、「奥義」はゲーム開始時に、「肉カード」「オーダーカード」はゲーム中に獲得する。

これらのカードは獲得した時の管理方法が異なる。

「肉カードと奥義」の置き場のことを、以後「胃袋」と呼ぶ。

胃袋ほか、カードの置き場所には以下の種類がある。混ざらないよう区別して管理する。



エリア ⇒ 未獲得の肉の置き場。裏向きで置かれる。
保温スペース ⇒ 未獲得の肉の置き場。表向きで置かれる。
胃袋 ⇒ 獲得した「奥義」「肉カード」置き場。
手札 ⇒ 獲得した「オーダーカード」置き場。

□捨て札と「捨てる」「消費する」
ゲーム中カードを「捨てる」「消費する」ことがある。
どちらの記述でも行き先は同じで、
プレイヤー共通の捨て札へ
カードを送る。



本作は、肉カードをめくって集めるホビーアニメ風エクストリーム焼肉カードゲームである。

手番では肉カードを複数枚めくっていく。めくったカードには勝利点が設定されており、この「勝利点の合計」が「伸び～る温度計カードが指示する数字(白熱ゲージ)」と一致すれば、めくったカードをすべて獲得する。これを【ゲームの終了条件】を満たすまで時計回りに繰り返し、最終的に集めた勝利点が最も高かったプレイヤー1人がゲームの勝者となり、この焼肉を生き残ることができる。

獲得した点数をさらに増幅させることができる「究極のシメ」と、減点になる「炭」の2つの要素に気を払いながら肉を集めよう。

内容物

ルールブック(本書): 1 冊
サマリーカード: 4 枚
肉カード: 56 枚
オーダーカード: 30 枚
奥義カード: 6 枚
究極のシメカード: 1 枚
伸び～る温度計カード: 2 枚



サマリーカードはいつでも確認できるように手元に置いておくのがオススメだよ～

3. ゲーム開始時の準備

[1] 2枚の伸び～る温度計カードを重ね合わせて【白熱ゲージ】を作り、値を6にセットする。

4人対戦: 6からスタート

3人対戦: 9からスタート

2人対戦: 14からスタート



[2] テーブル脇の全員が見える位置に肉カード「カタマリ」を全て置く。

※これ以降、「カタマリ」カードが置かれている周辺を「保温スペース」と呼ぶ。

[3] 残りの肉カードを、裏面が異なる4種類を全て混ぜてよくぎり一つの山札にする。

[4] 全員に肉カードを3枚ずつ配る。

配られた肉カードは自分だけ内容を確認したのち、内容を伏せてエリアに並べて置く。

※これ以降、伏せられたこれらの肉カードの置き場所を「自分のエリア」「相手のエリア」と呼ぶ。

※自分のエリアの肉カードは、これ以降補充されるものも含めて全て、ゲーム中は中身をいつでも確認できる。

※自分のエリアには、ゲーム中は何らかのカードの効果により一時的に3枚を超えて並ぶこともある。上限はない。

2. 各カードの説明と用語解説

■ 肉カード

カードの表面には勝利点が記してある。表にするまで何点か分からぬが、カードの裏面のシンボルである程度の傾向が分かる。



■ オーダーカード

お助けカード。

主に肉カードをめくった直後に使用し、勝利点の合計や白熱ゲージを微調整して数字比べを成功させることができる。



■ 肉カード「炭」

勝利点の代わりに「炭」カードがめくられる場合がある。



「炭」にも勝利点はあるが、手番中と得点計算時で値が変わる。



■ 肉カード「カタマリ」

3枚の「カタマリ」には裏面が存在せず、点数(11点、20点、29点)が確定している。

■ 奥義カード

これもお助けカード。

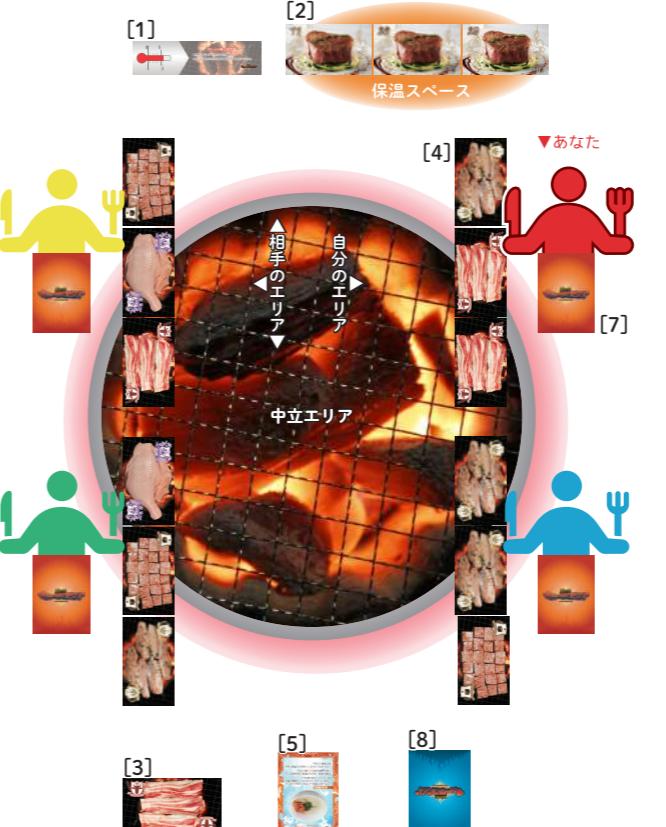
・胃袋に裏向きで伏せて置き、自分だけ内容を確認できる。

・カードごとに使えるタイミングが異なる。



・基本ゲーム中に1回だけ使える。

・使ったらカードを表に返す。



[5] テーブル脇の全員が見える位置に「究極のシメ」を置く。

[6] スタートプレイヤーを自由な方法で決める。おすすめは「一番最近熱い戦いに勝利した人」。

[7] 奥義カードを1枚ずつ配る。
(ランダム、または手番の逆順で選択する)

※配られた奥義は他のプレイヤーに公開せず、自分の手元に伏せる。

※これ以降、奥義の置き場所を「胃袋」と呼び、エリアとは区別して管理する。

[8] オーダーカードをよく切り一つの山札にする。

[9] (プレイヤーが3人以下の場合のみ)
テーブルの中央に「中立エリア」を用意し、肉カードを補充する。

3人対戦: 3枚
2人対戦: 6枚

[10] (プレイヤーが3人以下の場合のみ)
カタマリのうち「11」をゲームから取り除く。

